

錦江町第2期総合戦略（人口ビジョン）の概要（1/3）

◆人口の現状分析

■総人口の推移と将来推計

錦江町の総人口は、平成27(2015)年で7,923人となっている。社人研の人口推計を用いた推計によると、令和17(2035)年には5,000人を割り込み、令和42(2060)年には1,757人まで減少すると推計されている。

■年齢3区分別人口の推移と将来推計

生産年齢人口、年少人口は昭和40(1965)年以降、減少が続いている。

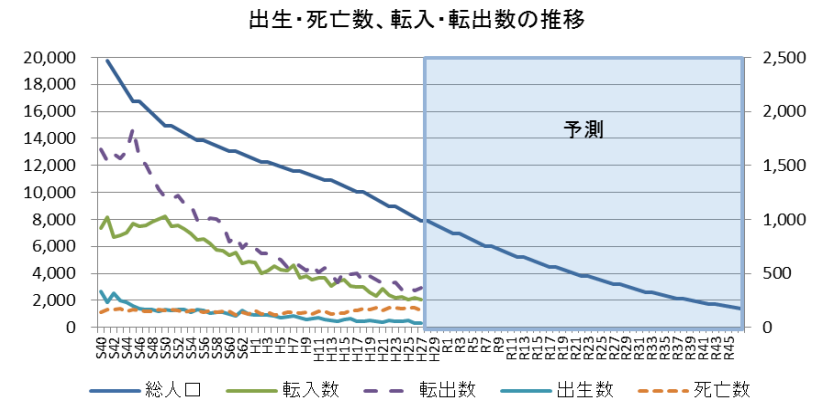
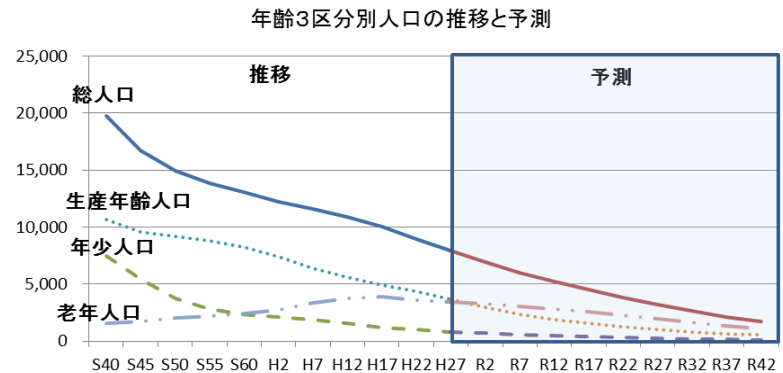
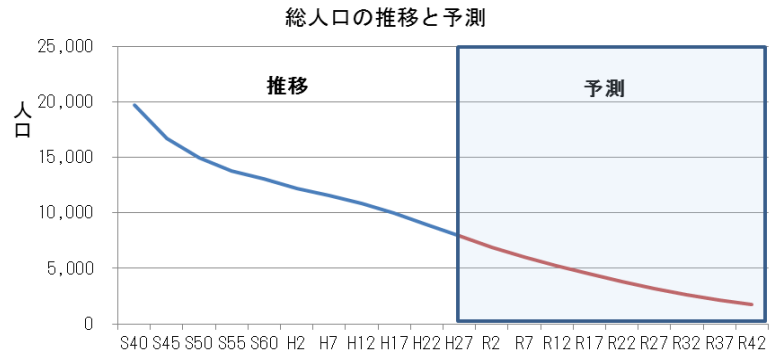
一方、老年人口は昭和40(1965)年以降、増加が続き、昭和60(1985)年には年少人口を上回ったが、平成22(2010)年には減少に転じている。

将来推計においては、3区分すべての人口が減少していくと推計されている。

■出生・死亡、転入、転出の推移

自然増減については、子どもを生き育てる世代「母親世代」の減少等を背景に出生数の減少が続き、昭和63(1988)年以降、出生数が死亡数を下回る「自然減」が、毎年続いている。現在は、老年人口の増加を背景に、死亡者数が増加傾向にあり、近年は年間100人を上回る「自然減」の状態となっている。

社会増減については、高度経済成長期である昭和40年代は集団就職等を背景に、転出数が転入数を大きく上回る「社会減」の状態であった。近年、「社会減」の傾向は弱まったものの、「社会減」の年が続いている。



錦江町第2期総合戦略（人口ビジョン）の概要（2/3）

◆将来人口の推計と分析

■人口減少段階

社人研の将来人口推計を用いた、平成27(2015)年から令和27(2045)年の変化を分析した結果、錦江町は、年少人口、生産年齢人口及び老年人口すべてが減少する「第3段階」と推計されている。

■将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度

社人研推計をベースにシミュレーションをした結果、自然増減の影響度が5段階中「2」、社会増減の影響度が5段階中「5」となっている。この結果、人口の社会増をもたらす施策を優先的に取り組んでいくことが、人口減少の度合いを抑えるために必要であると考えられる。

◆人口の変化が地域の将来に与える影響

■総人口の減少による影響

人口減少により、個人消費が衰退することに伴い、生活サービスが低下し、さらなる人口流出につながるという悪循環を招くことが懸念される。

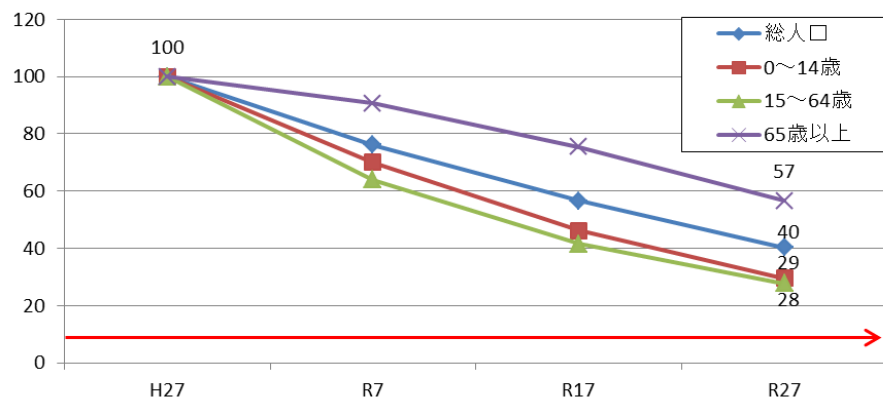
■生産年齢人口の減少による影響

生産年齢人口の減少に伴い、労働や地域活動の担い手不足や税収の減少による行政サービスの低下等が懸念される。

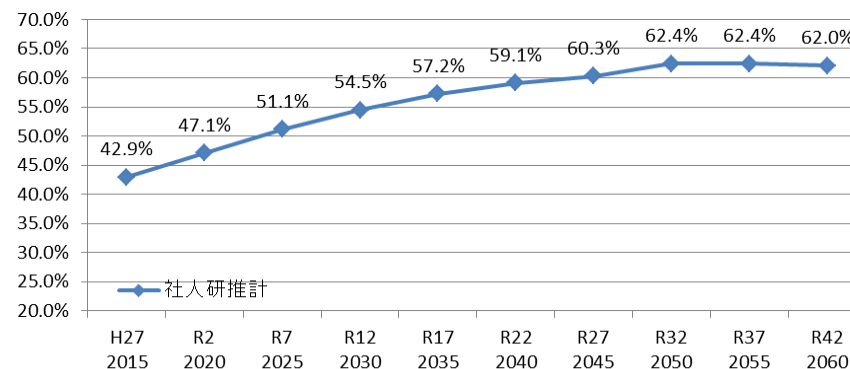
■老年人口比率の上昇による影響

老年人口比率の上昇に伴い、医療・福祉分野における人材不足や社会保障費に対する住民負担・行政負担の増加等が懸念される。

年齢3区分別人口の推移（平成27(2015)年を100とした場合の指数）



老年人口比率の長期推計



錦江町第2期総合戦略（人口ビジョン）の概要（3/3）

◆将来展望

■現状と課題

本町の総人口は減少傾向が続いており、社人研の人口推計を用いた推計によると、令和17(2035)年には4,486人、令和42(2060)年には1,757人まで減少すると推計されている。その大きな要因としては転出超過の状態が長く続いていることが挙げられる。また、町内においても特定の地区へ移動が集中する傾向があり(町内転居)、人口減少が生み出す将来への閉塞感・不安感を地域住民が募らせる一因となっている。

■目指すべき将来の方向性

本町の現状や課題、地域のニーズ、また国が示す長期ビジョンを踏まえ、本町がこれから人口問題に対応していくためには、生産年齢人口の流入促進や転出抑制等による社会動態の改善を図りつつ、安心して子どもを産み育てる環境を充実させることで、出生率の向上に取り組む必要がある。

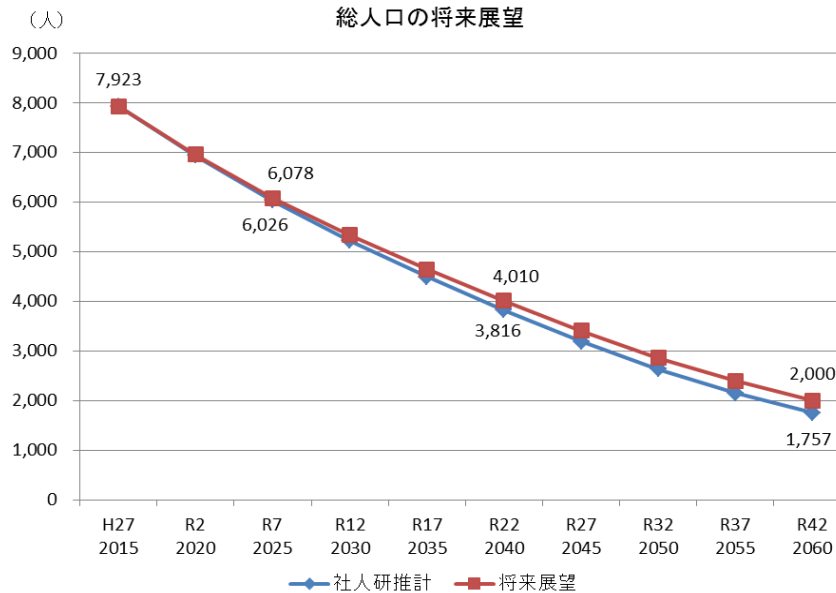
また地域の実情に即した施策に取り組むことで、住み続けたいと思える地域づくりを実現する必要がある。

■人口の将来展望

国の長期ビジョン及び本町の人口に関する推計や調査・分析を踏まえ、本町が目指すべき人口規模の展望を、**令和22(2040)年に4,010人の人口規模を目指す。**

将来展望を達成するために、

- (1) 生産年齢人口と年少人口の減少率抑制
- (2) 移住・定住の促進
- (3) 安心して住み続けることができる社会の実現に取り組んでいく。



平成 27 (2015) 年から令和 42 (2060) までの総人口・年齢 3 区分別人口比率

(社人研推計及び将来展望)

		H27 2015	R2 2020	R7 2025	R12 2030	R17 2035	R22 2040	R27 2045	R32 2050	R37 2055	R42 2060
社人研 推計	総人口 (人)	7,923	6,933	6,026	5,213	4,486	3,816	3,188	2,628	2,154	1,757
	年少人口比率	10.3%	10.2%	9.5%	8.9%	8.4%	8.0%	7.5%	7.4%	7.4%	7.4%
	生産年齢人口比率	46.7%	42.7%	39.4%	36.6%	34.3%	32.9%	32.1%	30.2%	30.2%	30.6%
	65歳以上人口比率	42.9%	47.1%	51.1%	54.5%	57.2%	59.1%	60.3%	62.4%	62.4%	62.0%
	65-74歳人口比率	14.7%	18.8%	20.7%	19.8%	18.2%	16.9%	16.3%	17.6%	17.1%	14.5%
将来 展望	総人口 (人)	7,923	6,957	6,078	5,327	4,645	4,010	3,402	2,856	2,391	2,000
	年少人口比率	10.3%	10.3%	9.8%	9.5%	9.3%	9.2%	8.9%	9.0%	9.2%	9.4%
	生産年齢人口比率	46.7%	42.8%	39.4%	36.8%	34.9%	33.8%	33.7%	32.5%	33.3%	34.5%
	65歳以上人口比率	42.9%	47.0%	50.8%	53.6%	55.8%	57.0%	57.4%	58.5%	57.5%	56.1%
	65-74歳人口比率	14.7%	18.8%	20.6%	19.5%	17.7%	16.2%	15.5%	16.5%	15.8%	13.2%